

昭和28年8月15日/甲賀郡甲南町寺庄



洪水時にあなたの街は本当に安全？

洪水氾濫危険区域図について



野洲川流域

野洲川は、その源を鈴鹿山脈の御在所岳に発し、田村川、仙川等のいくつかの支流を合せて平野部に達し、琵琶湖に注いでいる。

琵琶湖に流れる河川の中では屈指の大川で、湖岸部は湖成三角洲が発達し、近江米の主産地である穀倉地帯となっている。また、流域内は主要交通網の発達に伴い近年、企業進出が目立つようになり、内陸型工業地域を形成している。

上流山地部は急峻で林相も貧弱であり、降水の保水機能も低く、中流域は丘陵性の山地が連なり、侵食断崖が深み、山地、丘陵地とも風化の進んだ花崗岩、第三紀堆積岩よりなっている。さらに、比叡山延暦寺の建立の際に甲賀郡よりその用材を切り出した記録があるように、かつては、伐採が繰り返され往時の美林も退化して一層、貧しい林相となったことも相俟って洪水のたびに多量の土砂を流出した。その結果我国最大の湖成三角洲を形成するとともに特に下流部では南流・北流二川に分かれ、河床が堤内地盤よりも高い天井川となつて度々洪水氾濫を繰り返した。

そのため、昭和28年の大水害を機に、多くの人々の英知と協力により、河口約5km地点より、従来の南流・北流に変わる新しい川（放水路）の付替えが昭和61年度には、概成し、現在は上下流のバランスを図りながらの、河川改修が進められている。

◎河川概要

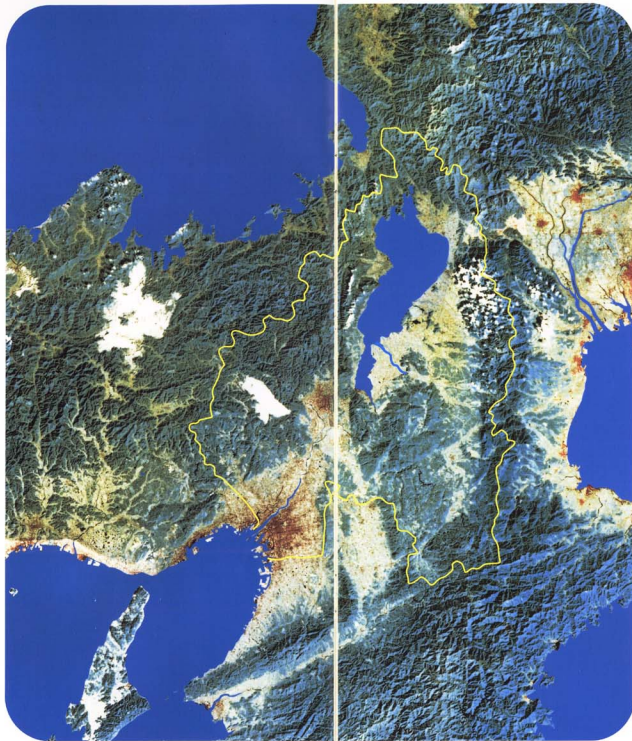
幹川流路延長……65km
流域面積………387km²
流域内人口………10万人
主な支派川………田村川、仙川、大山川等

◎流域内主要都市

滋賀県………守山市

◎氾濫危険区域内都市

滋賀県………守山市、草津市、野洲町、
中主町、栗東町、石部町、
甲西町



◎洪水氾濫危険区域図公表のわらい

はじめに

近年、洪水被害の減少とともに住民の皆さんの洪水に対する意識の低下が見受けられます。

洪水は常に身の回りに発生しているわけではなく日常生活がないために、たとえ洪水氾濫が発生し洪水に対する意識が高まってようやく関心も薄くなり、被害形態、災害時の対応等についての認識がうすれています。

大規模な洪水はいつ起こるかもしれません、皆さんには洪水氾濫に対する意識を積極的に持っていただきたいと考えています。

洪水氾濫危険区域図とは？

●野洲川が河川改修の長期的目標としている概ね100年に1回程度起こる大雨（1日間の総雨量350mmで昭和28年の台風13号の240mmの1.5倍）による洪水で、現時点（6年度）において河川改修が不十分であるために所要の安全度が確保できない地先における堤防が決壊するとした時、氾濫により浸水する区域を示したものです。

●対象洪水規模は、工事実施基本計画の対象流量としています。

●氾濫水深は0.5m未満、0.5～2.0m、2.0m以上の3ランクで表示しており複数の氾濫パターンでの最大水深を示しています。

●氾濫シミュレーションにおいては、支派川や琵琶湖及び近隣の琵琶湖流入河川による氾濫を考慮していないこと、大規模な道路盛土等は考慮してありませんが、計算メッシュが概ね500mピッチであるため、微地形による影響が表せないなど、精度面において若干の氾濫はあるものの、洪水氾濫状況は概ね再現していると考えています。

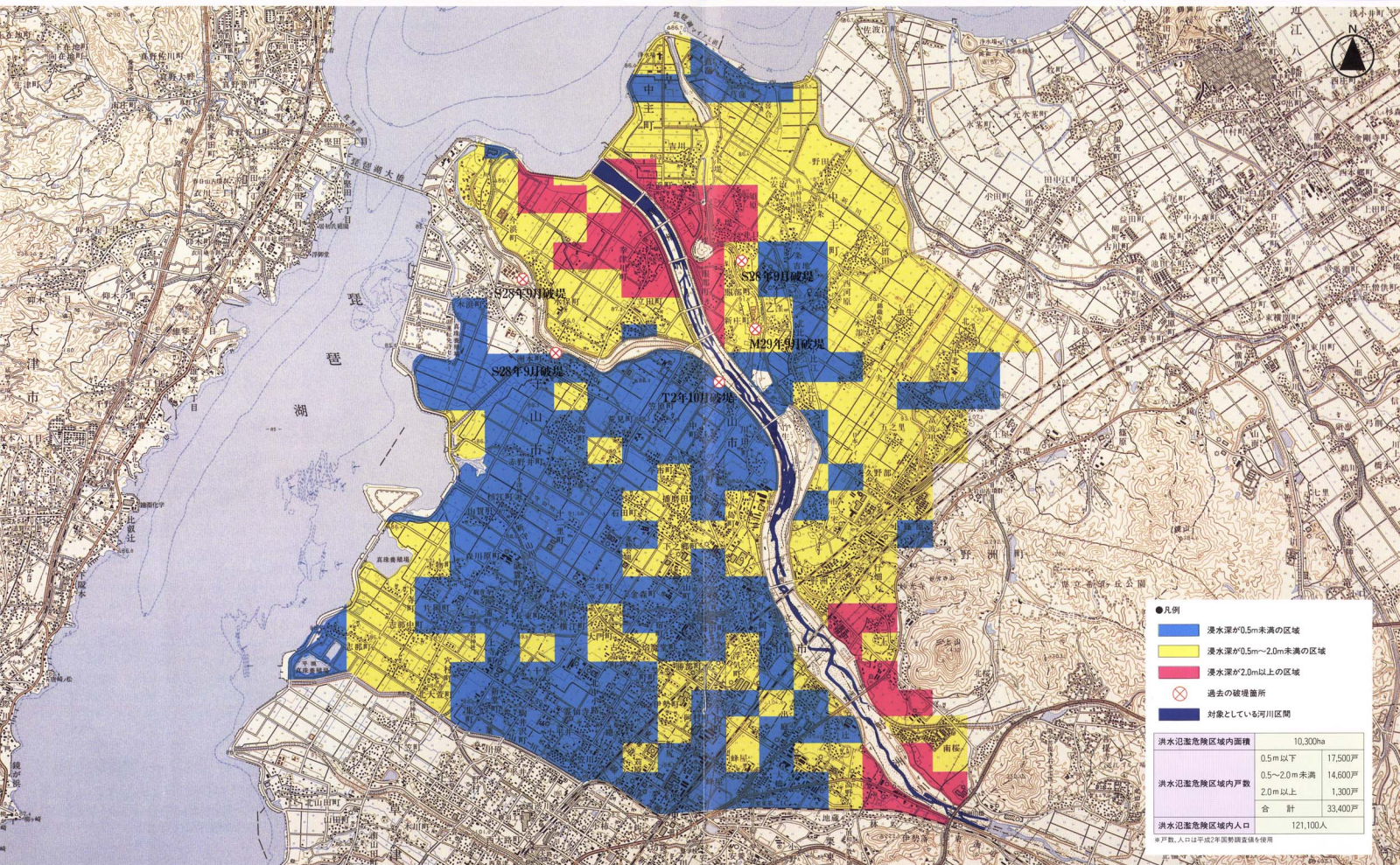
そして皆さんには！

流域に住む皆さんには、洪水氾濫危険区域図により、洪水氾濫による浸水の可能性がある区域とその被害状況を知っていただくことにより、

- 自分の住んでいる地域における洪水氾濫による浸水被害の可能性の有無について認識を深めて頂く。
- 水防への関心を高め、緊急時の水防、避難活動等に活用して頂く。
- 水害に強い生活様式への工夫にも役立てて頂く。と考えています。

さらに！

●今後、本図をもとに市町村が河川管理者等の協力のもとに、災害時の避難方法、災害情報の入手方法、災害時の心得等の災害時に必要な情報を盛り込んだ洪水ハザードマップの作成を行います。



●凡例

- 浸水深が0.5m未満の区域
- 浸水深が0.5m～2.0m未満の区域
- 浸水深が2.0m以上の区域
- ⊗ 過去の破堤箇所
- 対象としての河川区間

洪水氾濫危険区域内面積	10,300ha
洪水氾濫危険区域内戸数	33,400戸
洪水氾濫危険区域内人口	121,100人

※戸数・人口は平成2年国勢調査値を使用

この地図の作成に当たっては、建設省国土院発行の5万分の1地形図を使用しました。
(測量法第30条に基づき複製使用許諾 平成16年 第65号)

もし、100年に1回の
洪水がきたら…
**あなたの
街は……**



守山市立中州小学校
守山氏幸澤川町



野中洲町立三上小学校
野洲町三上



JR野洲駅
野洲町小橋



守山市立玉津小学校
守山市赤野井町

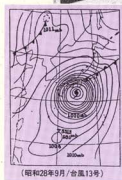


昭和28年9月27日/野洲郡中主町井口付近



昭和40年9月18日/守山市今浜新田地先

昭和40年9月18日/守山市今浜新田地先



信濃毎日新聞
県が災害救助法
適用 近江八幡など
目立つ河川の決壊
埋没 冠水も農作大打
●主な洪水

洪水名	降雨規模	被害等
昭和25年9月洪水	240mm/日	死者3名、流失又は半壊家屋83戸、自由浸水300ha、浸没2520ha
昭和34年9月洪水	207mm/日	床上・床下浸水72戸、大川橋流失
昭和40年9月洪水	225mm/日	死者1名、大川橋・新川橋流失、全半壊家屋411戸、浸水家屋1,522戸

●洪水被害総額



●1人あたりの被害額



※被害額は平成25年度概算を1億円単位に上り647万円

キダ・タローのなるほどトーク



大西 ●初めまして。実は近畿地方建設局で管理している直轄河川の洪水氾濫についてのパンフレットを作ろうということになりました。

例えば洪水で大きな川の堤防が決壊したら街中のどこがどんな深さで浸かるのかということシミュレーションで知っていただき、水害に対する現状を認識していただくことが目的です。

そして、先生には洪水の思い出や今後必要だと考えられることなどを話していただくと思ってご足労いただきました。どうぞよろしくお願いします。

キダ ●大役ですね。で、近畿地建の管理している河川はどこなんですか。

大西 ●南から、新宮川、紀の川、大和川、淀川、加古川、揖保川、円山川、由良川、北川、九頭竜川の10水系の重要な区間です。

こういった川の近くに住んでおられる方が多くが、どれほど危険と隣り合わせに暮らしているのか気がついております。そのことを知っていただくことで、私たちの仕事である河川の整備を理解していただくと思っています。

キダ ●なるほど。ところで、河川改修の目標となっている大雨の規模は100年に1度クラスですか。

大西 ●川によって、いろいろで、大阪市内を流れる淀川や大和川は200年に1度、紀ノ川や加古川では150年に1度といった雨量を確率計算して計画をたてています。



大西 亘
建設省近畿地方建設局
河川部河川計画課長

キダ ●確率計算する、と。

大西 ●そうです。昔は、それまでに体験した最大の洪水に対して整備していたのですが、それではいちごっこ繰り返になります。そこで、実績の降雨をもとに確率をセットしてそれに見合った流量を決めてそれを目標に整備していくということになったんです。

キダ ●きりがいいです、100年とか200年に1度でもやられたら全てが終わりですね。

大西 ●1度でもやられたら終わりなんです。ところで先生は、洪水に遭われた経験は？

キダ ●私、昭和5年の兵庫県生まれですが、そのころ、大きな風水害がしばしばあった。しかも台風がきたら必ず浸かっていたですね。

その浸かり方も半端じゃなしに2階へ行くわけです。屋根まで浸かっている。なかなか水がひかない。舟に乗ってにぎりめしを運んできよるわけです。ようけ食べましたわ。(笑)

台風というたらイコール浸かるですわ。台風でなくてもいわゆる豪雨なんかきたら床下浸水なんざらです。床上浸水は普通。ちょっときついと屋根はすわ。

大西 ●今、水害が減っているように見えますが実は潜在的な危険性はものすごく高くなっています。氾濫する区域の人口や資産も非常に増加しています、ストレスと同じで、こらえた後のほうが被害が大きくなります。近畿地方は現在の河川整備状況では50年、60年に1度降るくらいの雨でさえ、非常に大きな被害が出るのが推定されます。

キダ ●ほんまですか。

大西 ●ええ本当です。特に大阪平野などは地盤が低く、洪水のと非常に水位の高い場所に高度に集積された市街地があるからとてもこわいんです。

キダ ●それを聞くと大阪市内や都市圏に住んでいるとは、誰でも危機感を持ちますわな。

大西 ●そこにこのパンフレットの大きな目的があります。

ちょっと話題を変えさせてもらいまして……
「大和慕情」は私どもが先生につけていただいた歌ですが、他に川の歌は？

キダ ●この1曲だけですね。川は。

大西 ●そうですか。例えば「洪水が危ない」とかいうのはやっぱり歌になりませんか。(笑)

キダ ●合唱組曲みたいなものやと、なんですけど、歌謡曲でヒットさせるとなるとちょっと……理屈と違って曲にはロマンがないとダメで



キダ・タロー

血液型 B型 星座 射手座
宝塚市出身。関西学院大学に在学中から音楽活動を始め、現在も作曲家としてテレビ・ラジオ番組のテーマ音楽等を多数作曲し、自らも朝日放送ラジオ「フレッシュ9時半/キダ・タロー」で出演。気どらず暖かくユーモラスなしゃべりで人気を得ている。

すね。

大西 ●つい、「牙をむくと恐ろしい川」を知ってもらうおうと思うもので。(笑)

キダ ●ところで近畿地建として治水事業をこれからどう進めていこうと考えてはるんです？

大西 ●淀川や大和川では、非常に幅の広い堤防を整備するスーパー堤防事業を重点的に進めていき、各河川で洪水を安全に流すことが出来、そして美しい川をつくっていきたいと思っています。

キダ ●淀川、大和川で危険な箇所はあるんですか？

大西 ●京都や奈良から大阪平野に入ってくるころから河口まで全部危ないんです。

キダ ●昔、水害で家を流された家族を撮ったTVドラマの「岸辺のアルバム」の橋さに通じる……と。

大西 ●あれは、東京の多摩川ですね。実際に動く映像で見るとやはり洪水の怖さがよく解ります。

キダ ●そういう意味でも「こういう改修工事をやればこうなる」という広報も大切や、そうするためにこれだけの予算がいいるとはやっぱり主張することも大事やと思います。

大西 ●私もその通りだと思っています。皆さんが被害から無縁になり、極端にいえば、私の仕事が忘れられてしまうほど実績を上げることが目標にがんばっていきたいと考えています。

キダ ●本日は本当にいろんなお話をありがとうございました。

お問い合わせ

建設省 近畿地方建設局

琵琶湖工事事務所

調査課 ●〒520-22 滋賀県大津市黒津4-5-1
TEL (0775) 46-0884代